

## 1. 本園の教育・保育目標

「なかよく あかるく元気に 挑戦する子」の育成

## 2. 本年度の重点と取組

- 【感染症対策】 新型コロナウイルス対策を中心として、子どもの安全を守る。  
 【教育方針】 自分で考えて行動したり、自分から挨拶したりする子どもを育てる。  
 【教育・保育内容】 集団としての基本的な生活態度の育成。子どもが興味関心をもって取り組む環境づくり。  
 【保護者との連携】 相談しやすい雰囲気づくり。適切な情報発信の工夫。  
 【食育】 植物の栽培やクッキングなどを通して食べる楽しさを味わう。給食のマナーを学ぶ。  
 【安全管理】 危機管理マニュアルの見直し。安全点検の実施。避難訓練等を通しての安全教育。  
 【連携】 短大や近隣の小学校、地域の施設等と連携して、子どもたちに豊かな経験をさせる。

## 3. 評価項目と内容および取組状況

☆評価 A：十分達成 B：ある程度達成 C：部分的な改善が必要 D：全面的な改善が必要

| 分野      | 評価項目                                                                                                             | 自己評価 |                                                                                                                   |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         |                                                                                                                  | 達成状況 | 改善の方策                                                                                                             |
| 感染症対策   | 1 こども園は、新型コロナウイルス感染症などへの感染症対策を行っている。                                                                             | A    | 今後も感染症対策が継続されることを予想して、適切な対策を実行していく。手洗いや歯磨き等も楽しく行うことができるよう外部講師とも連携を続けていく。                                          |
| 教育方針    | 2 こども園は、教育・保育の目標や方針を分かりやすく伝えている。                                                                                 | A    | 園だよりやクラスだよりを中心に発信をしてきた。今後は、教育参観・懇談や個人懇談等でも、実際の教育・保育の様子を交えながら伝えるようにする。                                             |
| 教育・保育内容 | 3 子どもたちは、集団としての基本的な生活態度が見についている。<br>4 こども園は、子どもの発達に応じた保育をしている。<br>5 子どもは、園に行くのを楽しみにしている。                         | B    | 挨拶ができるようになった子は多いが、自分から進んでできるよう今後も声を掛けていきたい。子どもの思いに寄り添い、よさを伸ばすことができるよう、きめ細かいカリキュラムづくりを心がけていく。                      |
| 保護者との連携 | 6 こども園は、家庭への連絡を適切に行い、意思の疎通に努めている。<br>7 こども園は、いつでも気軽に相談できる雰囲気があり適切な対応をしている。<br>8 こども園は、園だよりやキッズリー等で、迅速に情報発信をしている。 | A    | 園での子どもの様子を、様々な形で保護者に伝え、相互理解を深めるよう努力してきたが、今後も引き続き、連携の絆を深めていく。必要に応じて、個人面談や教育相談を積極的に行い、保護者の困りや不安に寄り添い、解決できるよう心がけていく。 |
| 食育      | 9 こども園は、栄養バランスや衛生管理等に配慮し、安心安全な給食を提供している。<br>10 こども園は、食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つよう工夫している。                         | B    | 毎日の給食は、十分な時間を確保して、子どもがじっくり食べることができるようにしてきた。献立によっては食べる量に差があるが、意欲をもって食べることができるように、栄養士とも連携して指導していく。                  |
| 安全管理    | 11 こども園は、けがや発熱時等に、丁寧に分かりやすく状況を伝えている。<br>12 こども園は、防災意識を高め自分の身は自分で守ることができるよう指導している。                                | B    | 安全に遊ぶための安全な環境づくりに心がけるとともに、保護者への連絡はこれまで同様丁寧にやっていく。避難訓練や不審者対応訓練等、防災意識を高めるために必要な訓練は回数を増やして行うようにする。                   |
| 連携      | 13 こども園は、様々な人と関わる体験ができるよう、短大・地域・小学校等との連携をしながら、教育・保育活動を進めている。                                                     | B    | 年長児は、小学校との連携を複数回行い、就学への意欲付けにつなげることができた。また、短大や地域との関わりも少しずつ進めている。園全体での取組となるよう、連携対象を増やしていく。                          |